



shaping your dreams



# 環境報告書 2019

## CONTENTS

- 01 会社紹介
- 01 会社概要
- 02 主な事業内容
- 03 トップメッセージ
- 04 理念・方針
- 05 環境への取り組み
- 05 環境経営
- 06 環境会計
- 07 事業のマテリアルバランス
- 08 資源循環の促進
- 08 環境負荷の低減
- 09 環境配慮型の製品・サービス
- 11 社会への取り組み
- 11 お客様とともに
- 12 社会とのコミュニケーション
- 13 社会からの評価
- 14 生産工場環境データ
- 15 お問い合わせ一覧

## 当社グループの主な事業内容

切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・機械部品の製造販売、工具の輸入販売、工業所有権等の取得、貸与、譲渡およびこれらの技術指導。



## 編集方針

オーエスジーは、2001年度から環境に関する詳細情報をステークホルダーの皆様提供することを目的に環境報告書を発行してきました。2014年版から環境負荷低減の新たな取り組みとして冊子の発行は行わずホームページへの掲載のみとしました。

## ISO14001認証取得

認証機関：一般財団法人日本品質保証機構(JQA)  
登録番号：JQA-EM1088  
初回登録日：2000年11月10日

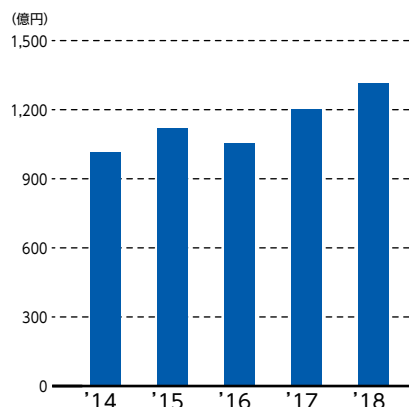
## 対象期間

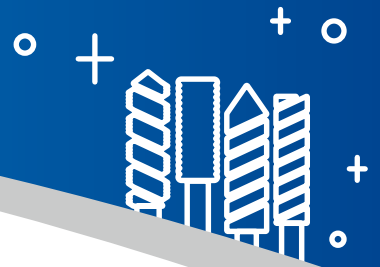
2018年度(2017年12月1日から2018年11月30日まで)の活動を中心として報告しています。

## 会社概要 (2018年11月末現在)

社名：オーエスジー株式会社  
本社：〒442-8543 愛知県豊川市本野ヶ原3丁目22番地  
TEL 0533-82-1111  
設立：1938年3月26日  
代表：代表取締役社長兼CEO 石川則男  
資本金：121億24百万円  
事業所：9事業所  
営業拠点：28箇所  
従業員数：1,811名(グループ全体 7,020名)  
連結子会社：(国内)16社 (海外)48社

## 連結売上高推移





オーエスジーは、世界トップシェアを誇るタップを柱に、エンドミル、ドリル、転造工具、ゲージなどを製造・販売する総合工具メーカーです。1938年の創業以来、その優れた設計・開発力と提案力により、常にお客様のニーズと課題に徹底的に取り組み、付加価値の高い製品群を生み出し続けてきました。

その企業姿勢はオーエスジーの企業DNAとして受け継がれ、地球規模の事業展開と世界の工具市場をリードする製品開発の原動力となっています。

#### OSGグループのグローバルネットワーク



## お互いが尊重し合える企業風土を環境へ展開!

環境活動の取り組みは当社の企業理念である「地球会社」への一歩でもあり時代の変化とともに、自然豊かな未来への実現に向けた挑戦へとつなげていきます。社員一人ひとりが環境への配慮、取り組みを積極的に展開していきます。



オーエスジー株式会社  
代表取締役社長兼CEO

石川 則男

オーエスジーは2018年に創業80周年を迎え、過去最高の業績を記録することができました。

2019年は中期経営計画「The Next Stage 17」の3年目に入り、米中貿易摩擦、一部新興国の経済鈍化など、今後の世界経済動向には注意が必要ながら、切削工具の需要増は継続すると予想しています。時代はハイブリッドカーや電気自動車、医療、グリーンエネルギーなどの最新技術において大きなパラダイムシフトを迎えており、お客様の多様なニーズ及び課題に適応するための方策として、新プロジェクト「OSG4.0」を立ち上げました。これは、製品データ、売上データ、製品固有の技術データなどをデジタル化し、全ものづくり情報の入出力を「OPDM (OSG Product Data Management)」で一本化させ、小ロットの試作品・特殊品と大ロットの量産品を両立させた生産性向上や時代の変化を的確にとらえた製品開発、自動化・省人化、無人稼働の促進、ワンファクトリー構想である日本のマザー工場と世界中の工場との一体化などを推進していくもので、オーエスジー独自のスマートファクトリーを確立する上で、重要なプロジェクトと位置付けています。これらスマートファクトリー構築により国内生産体制が刷新されることで、省エネルギーかつ効率的で環境にやさしい製品づくりが促進され、エコファクトリーが強化されます。

これからもOSGがOSGであり続けるために「信頼を未来につなぐ」企業として世界の製造業への貢献を目指し、挑戦を続けてまいります。皆様には変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い致します。

## shaping your dreams

オーエスジーは、創立100周年に向けて新たなブランドタグライン

「shaping your dreams」を制定いたしました。

高品質で高性能な製品を作り出す確かな「技術力」

真摯な姿勢で粘り強くやり遂げる「対応力」

期待の先を行く「提案力」と「創造力」

私たちは、地球規模で事業展開する総合工具メーカーとしてお客さまとの

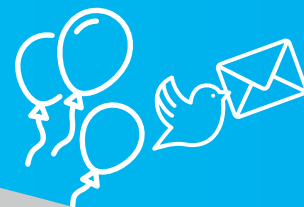
コミュニケーションを土台に、4つの力を掛け合わせ、お客さまの夢を

カタチにすることで、ものづくり産業の発展と豊かな未来の実現に挑み続けます。

<http://www.osg.co.jp/brand/>



shaping your dreams



## 経営基本方針

- 企業は社会の公器であることを常に自覚し、顧客に喜ばれる製品を提供します。
- 社員には、職場の適正配置と生活の向上を図ります。
- 株主には適正な安定配当を行うように努めます。
- 社会的な信頼を高めつつ堅実な経営を行い、世界的企業に発展するように努めます。

## 環境基本理念

- 経営基本方針との調和を図りながら地球環境を保全し、行動する。
- 三つの宣言(1996年10月)「地球会社」「健康会社」「環境に優しい会社」の情報を広く公開する。
- 社会に貢献する商品・サービスの提供を図ると共に環境へ配慮して活動する。
- スローガンに地球環境の保全、自然との共生を図り行動できる企業づくりに努めます。

## 環境方針

「環境に優しい会社」「環境を大切にす文化」をスローガンに地球環境の保全、自然との共生を図り行動できる企業づくりに努めます。

## 第7次環境中期計画スローガン(2018年度～2020年度)

スローガン: 更なる環境改善でエコカンパニーへ!

【エコファクトリー、エコプロダクツの活動活性化でコスト削減を図る】

- 推進する活動
  - 【エコファクトリー】…副資材(研削油・砥石)の使用量削減やエネルギー使用量削減など
  - 【エコプロダクツ】…長寿命工具の開発、顧客の環境負荷低減に繋がる工具開発など
  - 【省エネルギー】…段取り時間削減やサイクルタイム向上などの生産性向上など

## 2018年度環境実績及び2019年度目標

No	環境目標		2018年度		2019年度 目標
	項目	内容	目標値	実績値	
1	省エネルギー	総エネルギー使用量削減 (エネルギー源:電気・重油・LPガス) 総使用量 BM: 96,676GJ/月	1.0%削減 957GJ/月 削減	1.9%削減 1,776GJ/月 削減	1.0%削減 957GJ/月 削減
		生産高原単位 BM: 20GJ/百万円	1.0%削減 0.20GJ/月 削減	1.4%削減 0.27GJ/月 削減	1.0%削減 0.20GJ/月 削減
2	エコプロダクツ	環境に優しい製品開発	29点	35点	31点*
3	エコファクトリー	環境に優しい製品造り	31点	38点	34点*

\*環境活動のレベルアップ 弊社基準点数化(満点60点)



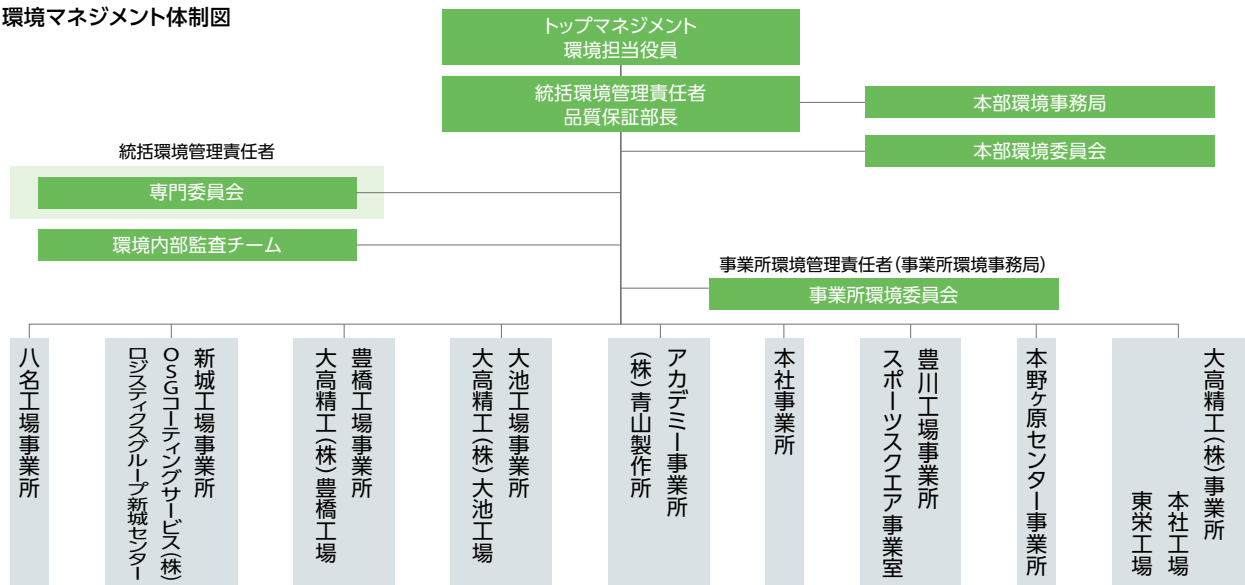
# 環境への取り組み

次の世代にまで影響がおよぶ環境問題は、オーエスジーが取り組むべき重要な課題です。資源の効率的な利用や環境に配慮した製品作り、お客様への環境に優しい製品・サービスの提供等に積極的に取り組み、環境負荷低減と資源循環型社会の構築を目指しています。

## 環境方針

オーエスジーでは、本部環境委員会を設置し、社内横断的に環境戦略を立案し、積極的に環境問題の解決に取り組んでいます。環境負荷の大きい現場に近い部署が環境マネジメントの主体となる体制として、環境マネジメント活動はトップマネジメントに環境担当役員、統括環境管理責任者に品質保証部長として体制を作り活動しています。

環境マネジメント体制図



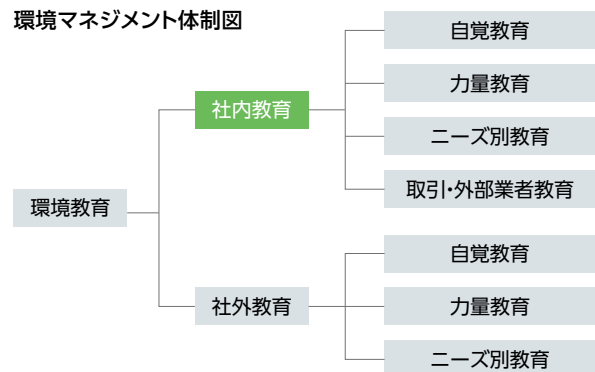
## 環境教育

新任管理監督者はISO14001のマネジメントシステムを理解し、環境内部監査員として活躍してもらうために、力量教育を実施して社内認定しています。

また各事業所の環境担当者には幅広く環境法の基礎的な知識を習得してもらうため、環境法規制教育で知識と実践的な力量の向上に取り組んでいます。

緊急時に対する対応訓練についても各事業所の担当者への周知徹底を行っています。

環境マネジメント体制図



## 関連会社の環境マネジメントシステムの構築状況

### ISO14001取得状況

2000年	11月	オーエスジー(株)9事業所	ISO14001認証取得
2004年	10月	(株)ノダ精工	ISO14001認証取得
2005年	12月	三和精機(株)滋賀製作所	ISO14001認証取得
2007年	10月	日本ハードメタル(株)九州工場	ISO14001認証取得
2007年	10月	(株)青山製作所	ISO14001認証取得
2008年	10月	大高精工(株)	ISO14001認証取得
2008年	10月	大宝産業(株)	ISO14001認証取得
2014年	6月	日本ハードメタル(株) 本社・本社工場	ISO14001認証取得



## 環境会計

環境会計システムは、環境省の「環境会計ガイドライン」を参考にしています。

環境会計を通じて、環境保全活動に取り組む当社の姿勢と考え方を理解いただき、更なる社会との良好な関係の向上を目指します。

### 過去3年間のコストと効果の推移

(単位：千円)

	2016年度	2017年度	2018年度
1 積極的成本	76,394	36,448	231,247
2 維持コスト	58,163	62,292	64,521
3 環境損失補償	0	0	0
4 環境保全効果	34,221	13,519	29,965

### 2018年度のコストと効果の詳細

(単位：千円)

分類	項目	具体的な取り組み内容	設備等の投資金額
1 環境目的達成に向けた「積極的成本」	①公害防止コスト	—	0
	②地球環境保全コスト	空調熱源機の更新、照明LED化等	231,247
	③資源環境コスト	—	0
			小計 231,247
2 環境マネジメントシステムの「維持コスト」	①環境保全活動に伴う人件費	環境事務局経費、マネジメント運用経費	15,000
	②環境教育・同資料作成コスト	セミナー参加、環境報告書	169
	③環境監査関連費用	外部審査費用、登録維持費用	1,084
	④環境関連法規制対応コスト	特定化学物質測定等	0
	⑤廃棄物処理およびリサイクル費用	廃棄物処理費用	43,280
	⑥循環測定費用	各種環境測定、分析費用	4,738
	⑦社会活動における環境保全コスト	日本機械工具工業会環境委員会活動費用	250
		小計 64,521	
3 環境損失補償費用	土壌汚染、自然破壊修復コスト等	—	0
			小計 0
			合計 295,768
4 環境保全効果	環境改善効果の合計	空調熱源機更新による省エネ、照明のLED化による省エネ	29,965
			合計 29,965



### 事業のマテリアルバランス

オーエスジーは、低炭素社会の実現と資源循環型社会の構築に貢献すべく、事業活動における様々な環境への影響を把握・管理し、エネルギー使用量の削減や製造プロセスで発生した廃棄物を再資源として使用する等の努力を続けています。

## INPUT

(天然資源・エネルギー等)

エネルギー	
購入電力	9,507万kWh
重油／発電	612kL
重油／空調	916kL
LPG／空調	432t
用水／上水	124,697m³
工業用水	23,803m³
井水	3,630m³
紙(コピー用紙A4換算)	375万枚

資源	
原材料(金属素材)	2,011t
(内PRTR対象物質)	275t
油剤(切削、研削油)	490kL
その他	副資材等



## OUTPUT

(廃棄物、水域・大気等への放出)

製品	
生産高	55,925百万円
包装用品	185百万円

廃棄物	
売却量	1,075.6t
リサイクル量	1,089.7t
最終埋立量	4.1t
合計	2,169t

水域への排出	
排水	152,130m³

※排水は主に生活排水です。  
 ※排水量=用水の使用量としました。実際の排水は、水溶性クーラントへの使用や空調使用の蒸発等により使用量の50~60%と推測されます。

大気への排出	
エネルギー起源のCO <sub>2</sub>	
生産	53,001t





## 資源循環の促進

廃棄物について、ゼロエミッション活動を推進してきました。再利用、再生利用による資源が循環する仕組みづくり、排出されるごみを適正に処理する体制を確立させ2005年から再資源化率99%以上を実現しています。

再資源化率  
**99%**

### 再資源化

金属屑(売却)	799.8t
紙ダンボール(売却)	76.8t
廃油(売却、リサイクル)	416.3t
油泥(売却、リサイクル)	175.0t
廃珪藻土(売却、リサイクル)	462.9t
廃珪石(リサイクル)	41.9t
廃プラ(リサイクル)	53.0t
木屑(リサイクル)	83.4t
その他(リサイクル)	56.1t
総再資源化重量	2,165.3t

## 環境負荷の低減

エネルギー使用量、CO<sub>2</sub>排出量、廃棄物削減を推進してきました。環境負荷の継続的改善を進めるため「エネルギー使用の効率化」と「省エネ設備への代替化」を重点項目として全事業所を挙げて活動してきました。

### エネルギー使用量

空調関連設備更新による省エネならびに全社LED照明の切り替え等を進めてた結果生産高原単位は、前年度18.7から18.4へ2%の改善ができました。

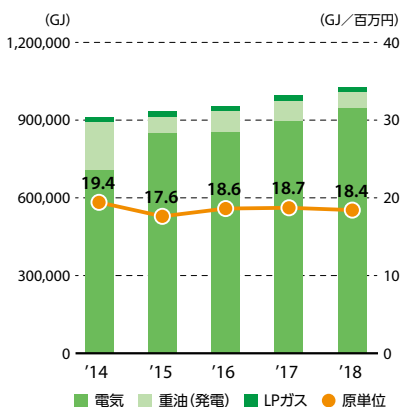
### CO<sub>2</sub>排出量

CO<sub>2</sub>排出量の生産高原単位は、前年に比べ生産原単位は、2%の改善ができました。要因は、生産高が増加しましたが、省エネ設備への転換を図り、CO<sub>2</sub>排出量を抑制することで効果ができました。

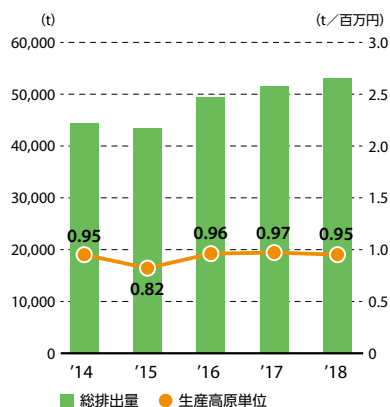
### 廃棄物の排出量と有価物比率

廃棄物の削減と有価物化への取り組みを継続的に活動を行っています。生産高の増加にも関わらず廃棄物を前年比6%削減することができました。しかし、廃棄物を削減する中で有価売却量が多く含まれていたことにより有価売却比率は、前年度より4%低下する結果となりました。

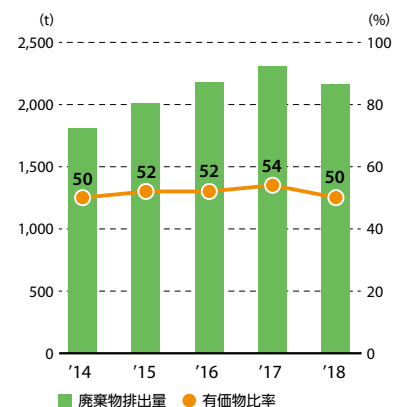
### エネルギー使用量



### CO<sub>2</sub>排出量



### 廃棄物排出量と有価物比率





### 環境配慮型の製品・サービス

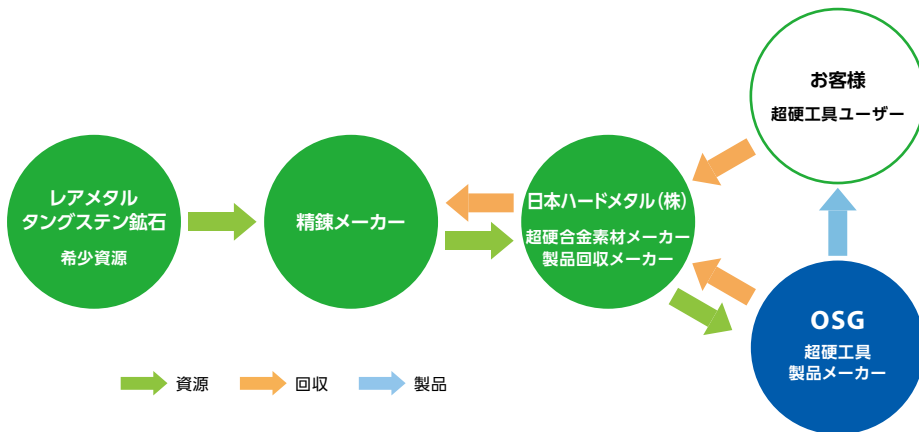
オーエスジーでは、環境に優しい製品作りやお客様への環境に優しい製品の提供に努めています。再研磨事業の充実や、高速切削、長寿命等高効率、省資源化した製品の開発を通じて環境負荷低減に積極的に取り組んでいます。

#### ■ 超硬リサイクルの推進

超硬工具には、タングステン・コバルト等の希少資源が原料に含まれています。

オーエスジーは、グループ全体で超硬製品のリサイクルに取り組んでいます。

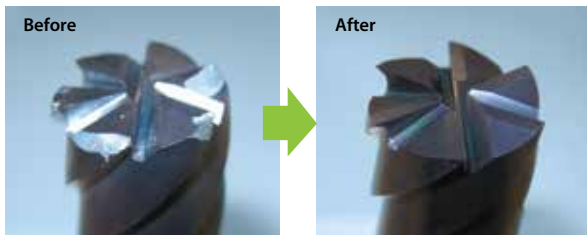
使用済み工具をお客様から回収し、希少金属をリサイクルすることで素材として再生して資源の有効活用することで、お客様のCSR活動やゼロエミッション推進に役立てるよう取り組んでいます。



#### ■ 再研削サービス

タップ・エンドミル・ドリル等切削工具は使用を繰り返すと摩耗して切れなくなりますが、再研削により新品同様にその切れ味がよみがえります。

オーエスジーでは再研削をグループ会社で行っており、お客様のご要望にお応えしています。



#### オーエスジーグループ再研削工場

- (株) 青山製作所  
〒441-1231 愛知県豊川市一宮町宮前149  
Tel. 0533-93-2524 Fax. 0533-93-2725
- (株) エスデイ製作所  
〒300-2748 茨城県常総市馬場442-2  
Tel. 0297-43-7181 Fax. 0297-43-7180
- ORS(株)  
〒470-2102 愛知県知多郡東浦町緒川大草1-156  
Tel. 0562-83-9841 Fax. 0562-83-9053
- ORS(株) 群馬工場  
〒379-2235 群馬県伊勢崎市三室町5720番7  
Tel. 0270-75-1333 Fax. 0270-75-1334
- 大高精工(株) 本社工場  
〒441-1317 愛知県新城市有海字高田1番地10  
Tel. 0536-25-0833 Fax. 0536-25-0835
- (株) 日新ダイヤモンド製作所(ダイヤモンド工具のみ再研)  
〒520-1621 滋賀県高島市今津町大字今津  
1561番地の7  
Tel. 0740-22-2415 Fax. 0740-22-4178



## 3枚刃の新常識 トリプルレボリューション ADO-TRS-3D/5D

### ADO-TRS-3D/5Dの特長

#### ・Rギャッシュ

従来型の3枚刃ドリルでは安定した加工が困難であった鋼材の加工において、切りくず分断性、及び切りくず形状の安定性を格段に向上、また切削抵抗を30%以上低減する事によって、鋼材における安定した高送り加工を実現。高送り領域での加工では、刃数の少ない2枚刃ドリルよりも低い切削抵抗を実現しました。

#### ■ 外観



#### ■ 切りくず分断が困難な軟鋼での切りくず比較

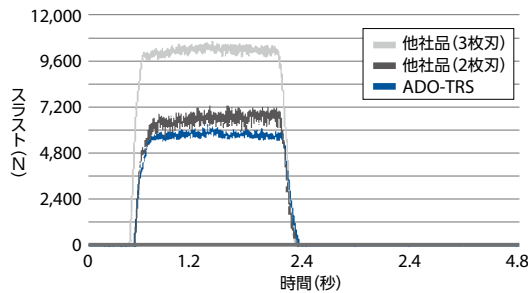


従来型3枚刃

従来型2枚刃

ADO-TRS

#### ■ 従来型3枚刃、及び2枚刃との切削抵抗比較



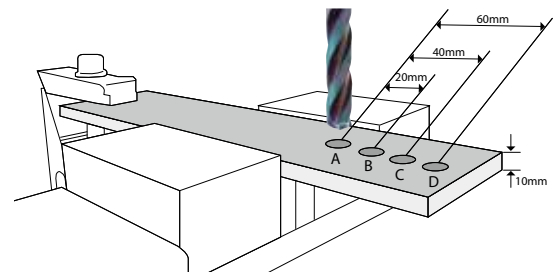
他社3枚刃ドリルに対してスラスト抵抗を30%以上低減、かつ他社2枚刃よりも低いスラスト抵抗を実現

低抵抗化により、従来型3枚刃ドリルに比べ、加工環境などの制約を受けにくく、幅広い環境で使用できます。

#### ■ 切削抵抗の影響を受けやすい薄板加工での穴精度比較

使用工具	ADO-TRS-3D	他社品(3枚刃)	他社品(2枚刃)
サイズ	φ14		
被削材	S53C(30HRC)		
切削速度	100mm/min (2,275min <sup>-1</sup> )		
送り速度	1,274mm/min (0.56mm/rev)	956mm/min (0.42mm/rev)	
穴深さ	10mm(通り)		
切削油剤	水溶性切削油剤		
使用機械	立形マシニングセンタ		

#### 送りの低い2枚刃と同等の穴精度



単位:mm

工具	送り速度	穴位置精度				穴径			
		A	B	C	D	A	B	C	D
ADO-TRS	1,274mm/min	0.031	0.033	0.038	0.042	13.996	13.998	14.009	14.022
他社品(3枚刃)	1,274mm/min	0.055	0.075	0.131	0.272	14.004	14.007	14.020	14.062
他社品(2枚刃)	956mm/min	0.023	0.029	0.045	0.046	14.013	14.021	14.026	14.026

#### ・従来型3枚刃ドリルでは不可能であった鋼材の長寿命・安定加工

このような仕様の組み合わせにより、強度の高い鋼材を含めた、幅広い被削材の加工において、安定した長寿命を実現しました。高能率化による機械稼働時間、電力消費量の削減、及び長寿命化による廃棄物削減にも貢献します。



企業は社会の一員であり、社会との双方向かつ良好な関係を維持しながら社会全体の持続可能性を追求していかなければなりません。オーエスジーでは、これを十分認識し、お客様や従業員など様々なステークホルダーとの円滑なコミュニケーションに努めています。

## お客様とともに

高精度且つ高能率加工が可能な製品をご提供することで、お客様の環境負荷低減のお手伝いをさせて頂いております。工具を通してお客様の夢をカタチにするため、『shaping your dreams』をキーワードに、お客様から信頼される製品とサービスを提供することで、さらなる顧客満足の上をを図っています。

### ■ 品質マネジメントシステム

当社は、これまでもオーエスジーグループで働くひとり一人がお客様に満足していただける魅力ある品質・環境に配慮した製品・サービスをお届けしてきました。これからも、品質マネジメントシステムの本質である顧客重視と継続的改善を再認識し、お客様に満足していただける工具を供給できるよう改善を続けています。

オーエスジーは、世界に通用する品質(QCDE)を提供し、お客様に信頼される品質保証体制を構築するためにグループ会社も含めOSG品質認定制度に合格させ、グローバルな展開が出来るように品質体制監査を実施しています。

### ■ 各種展示会出展

当社は、総合工具メーカーとして積極的に各種展示会に参加するとともに、セミナー開催などを行い、見て・感じて・体験していただくことで、工具を通じてお客様とのコミュニケーションを深めています。

オーエスジーが出展する国内外の最新の展示会(技術展・見本市)の情報を掲載しています。



INTERMOLD2018 プレゼンステージでAブランドをPR



IMTS 2018 お客様でにぎわうOSG USAブース

#### 主な出典展示会：

INTERMOLD 2018	2018年 4月
IMTS 2018	2018年 9月
JIMTOF 2018	2018年 11月



JIMTOF2018 OSGブース



JIMTOF2018 大勢のお客様にお越しいただきました



## 社会とのコミュニケーション

地域社会との共生を目指すとともに、更なる社会の持続的な発展に貢献することにより社会的責任を果たしています。

### ■ ものづくり博2018in東三河

2018年6月15日(金)16日(土)2日間豊橋市総合体育館にて「ものづくり博2018in東三河」が開催されました。

オーエスジーでは、初の試みとしてVR体験を取り入れ、お客様にオーエスジーの工具での加工を3D動画で体験していただきました。また、地元の小・中・高校生が多数来場され、オーエスジーを知り、興味を深める機会となりました。

### ■ 家族工場見学会

2018年3月21日(水)と4月3日(水)の2日に分けて家族交流会を開催し、44家族173名と多くの方に参加いただきました。

この見学会は、家族の皆さんに職場に来ていただくことで会社の取り扱う製品や仕事内容を知ってもらう機会となり、オーエスジーへの理解が深まりました。

### ■ 中学生の職場体験実習実施

職場体験に来ました!よろしくお祈いします!元気に、でも少し緊張した中学生がオーエスジーにやってきました。

各工場は毎年5月から6月にかけて、近隣の中学校からの要請を受け職場体験実習を受入れています。

実習受け入れを通して、地域貢献しています。



近隣の学校からもたくさんの来場者がありました



機械の説明に聴き入るご家族の皆さん



きめ細やかな指導で急成長



### ■ 大澤科学技術振興財団

#### 過去28年間に延べ636人を助成

大澤科学技術振興財団は、平成30年度の助成選考を行い、今年度は、33人の研究者に対し、総額7千300万円の助成を行いました。

平成3年から今年までの助成実績は、のべ636人に対して総額7億5千7百万円となっています。

これらの新しい研究成果は、工作機械・工具業界の発展にも役立っています。

『科学技術の研究に日夜専念している研究者を経済的に援助したい』という創業者の大澤秀雄さんの夢を、一步一步確実に実現しています。



受賞者の皆さん

## 社会からの評価

2018年度の事業活動により、第三者からいただいた評価を紹介します。

### ■ 文部科学大臣表彰

創意工夫功労者賞を2018年度は、2件受賞しました。

この賞は、“優れた創意工夫”により、技術の改善向上に貢献した勤労者を文部科学大臣が表彰し、現場の第一線で努力している人に光をあてるための賞です。

2010年から9年連続受賞し、受賞件数17件19名となりました。



受賞された熊谷潤さん(左)と兵道佳祐さん(右)

### ■ 日本機械工具工業会で環境活動賞と技術功績賞を受賞

2018年2月9日(金)日立金属高輪和彊館にて日本機械工具工業会第3回環境活動交流会が開催され、環境活動賞19件が表彰されました。優秀事例としてオーエスジー「研削スラッジに含まれる研削油の再利用」が選定され、考案者の今泉さんが発表を行いました。

2018年10月3日(水)名古屋キャッスルプラザにて日本機械工具工業会の秋季総会が開催され、日本機械工具工業会賞19件が表彰されました。「ワンレポリューションAT-1」が技術功績賞を受賞しました。



受賞された今泉さん



受賞された依田さんと技術功績賞の楯



# 生産工場の環境データ

## INPUT

### 資源エネルギー投入量(年間)

	2017年度	2018年度
購入電力	3,401万kwh	3,806万kwh
	100%	112%
重油/発電	1,174kL	612kL <sup>*2</sup>
	100%	52%
重油/空調	752kL	853kL
	100%	113%
LPG/ 表面処理用	95t	109t
	100%	115%
用水(上水)	42,452m <sup>3</sup>	44,894m <sup>3</sup>
	100%	106%

\*2 自家発電を減少

## OUTPUT

### CO<sub>2</sub>排出量・産業廃棄物排出量<sup>\*1</sup>

	2017年度	2018年度
CO <sub>2</sub> 排出量	22,000t	22,419t
	100%	102%
CO <sub>2</sub> 排出量 原単位	1.14t/百万円	1.08t/百万円
	100%	95%
廃棄物 排出量	801t	661t
	100%	83%

\*1 廃棄物排出量は有価物を除く

### 八名工場



### 新城工場



### 豊橋工場



### 大池工場



	2017年度	2018年度
購入電力	2,303万kwh	2,386万kwh
	100%	105%
LPG/空調	338t	332t
	100%	98%
用水 (上水)	51,932m <sup>3</sup>	57,669m <sup>3</sup>
	100%	111%
用水 (工場用水)	31,452m <sup>3</sup>	23,803m <sup>3</sup>
	100%	76%

	2017年度	2018年度
CO <sub>2</sub> 排出量	12,195t	12,337t
	100%	101%
CO <sub>2</sub> 排出量 原単位	0.92t/百万円	0.92t/百万円
	100%	100%
廃棄物 排出量	175t	199t
	100%	113%

\*1 廃棄物排出量は有価物を除く

	2017年度	2018年度
購入電力	1,062万kwh	1,117kwh
	100%	105%
重油/空調	0kL	0kL
	—	—
用水(上水)	7,294m <sup>3</sup>	7,497m <sup>3</sup>
	100%	103%

	2017年度	2018年度
CO <sub>2</sub> 排出量	5,512t	5,318t
	100%	96%
CO <sub>2</sub> 排出量 原単位	1.05t/百万円	0.98t/百万円
	100%	95%
廃棄物 排出量	171t	178t
	100%	104%

\*1 廃棄物排出量は有価物を除く

	2017年度	2018年度
購入電力	1,806万kwh	1,810万kwh
	100%	100%
LPG/空調	0t	0t
	—	—
用水 (上水)	5,209m <sup>3</sup>	5,454m <sup>3</sup>
	100%	105%
用水 (井水)	947m <sup>3</sup>	160m <sup>3</sup> <sup>*3</sup>
	100%	17%

	2017年度	2018年度
CO <sub>2</sub> 排出量	8,440t	8,694t
	100%	103%
CO <sub>2</sub> 排出量 原単位	0.53t/百万円	0.51t/百万円
	100%	96%
廃棄物 排出量	87t	106t
	100%	122%

\*1 廃棄物排出量は有価物を除く

\*3 LPG空調使用中止にて減少

**【お問い合わせ一覧】**

オーエスジー株式会社ホームページ

<http://www.osg.co.jp/>

企業情報(IR情報)

[http://www.osg.co.jp/about\\_us/ir/](http://www.osg.co.jp/about_us/ir/)

**オーエスジー株式会社  
環境報告書 2019**

2019年5月 初版発行

編集：品質保証部 品質保証グループ 品質保証・ISO統括チーム

次回発行予定：2020年5月

**【お問い合わせ】**

本報告書に関するご意見やご質問は、下記までご連絡ください。

オーエスジー株式会社本野ヶ原センター  
品質保証部  
品質保証グループ 品質保証・ISO統括チーム

〒442-8544 愛知県豊川市本野ヶ原1-15

TEL : 0533-84-8929

FAX : 0533-84-8952

E-mail : infoeco@osg.co.jp